

ワークショップ
プログラム

垂井町の将来を考える 住民ワークショップ

第3回

平成 29 年 6 月 24 日
文化会館 小ホール
9:00~

プログラム

1. あいさつ
2. 取組みの役割分担を考える
3. 発表

タイムスケジュール

□ ワークショップは、以下の手順で進めてまいります。

| はじめに | |
|--------------------------------------|--|
| 1 事務局あいさつ (5分) | □ 事務局からごあいさついたします。 |
| 2 プログラム説明(10分) | □ プログラムについてご説明いたします。 |
| プログラム | |
| 3 前回のワークショップのふりかえり (10分) | □ 前回意見交換した内容のふりかえり |
| 4 住民一人ひとりが、どのような取り組みができるか考えよう！ (15分) | □ 前回の取り組み案を参考に、住民一人ひとりが取り組むことができることを整理しましょう。 □ 5ページに記載したそれぞれのテーマについて考えてください。 □ それぞれが取り組むべき事柄を、ポストイット(カード)に書き出します。 □ ポストイットは何枚書いてもかまいませんが、 1枚には1つの事柄しか書かない ようにしてください。 |
| 5 ポストイットに書いた意見をグループ内で発表しよう！ (60分) | □ 進行役の案内で、グループごとに意見を発表します。 □ 進行役の指示で 進めてください。 □ 1回の発言は1分以内 にまとめてください。 |
| 6 ワークショップの結果を全員に発表しよう！ (20分) | □ 自分たちのグループの結果を、他のグループの人や出席している方がわかりやすいように発表してください。 □ 発表時間は1グループ3分です。 |

①ワークショップとは何？



ワークショップ（Work Shop）という言葉は、「仕事場、工作室」を意味します。Work は身体を動かすこと、Shop は自分で作ったものを公開すること、したがって、ワークショップとは、「様々な人が集まり、共同作業を通じて、何かを創り出す行為」と言えます。

本日のワークショップは、垂井町の次期総合計画に、皆様のご意見を反映させるために行うものです。

②最初に、みなさんにお願い！

□ グループでの話し合いでは、次の3つの原則を守ってください。

- 参加者に上下関係はありません
⇒ルールに従い、水平な関係で活発な意見交換をお願いします
- お互いの話に耳を傾け、多様な意見を受け入れましょう
⇒頭ごなしに相手の意見を批判することはやめましょう
- ワークショップは決められた結論に導くものではありません
⇒思いのまま、自由に意見を出してください

- 1回の発言は1分以内にまとめてください。
- 他の参加者が発言しているときには、発言しないでください。
- グループごとに進行役（ファシリテーター）がいます。進行役の指示に従って、活発に意見交換してください。

③ワークショップのステップ

第1回

平成29年1月21日(土) 9:00~ 文化会館小ホール

**垂井町のまちの課題や問題点と、
垂井町が誇る魅力的な地域資源を洗い出しましょう!**

第2回

平成29年2月26日(日) 9:00~ 文化会館小ホール

**垂井町が将来どのようなまちを目指すべきか考え
それに向けてどんな取り組みをすべきか考えましょう!**

第3回

平成29年6月24日(土) 9:00~ 文化会館小ホール

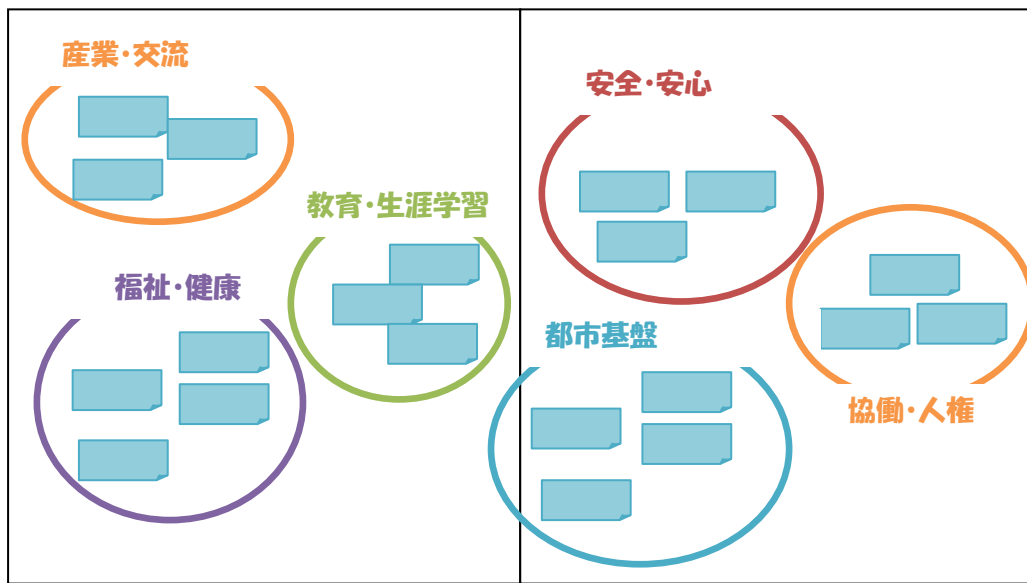
**将来のためにこれから行うべき取り組みの中で、
自分たちが実践できることを考えましょう!**

よりよい垂井町を創るためには、地域との協力が重要です！それぞれの地域に住む住民一人ひとりが、まちづくりのために何をすべきか考えましょう！



④ワークショップの進め方

- ❑ 住民一人ひとりが、将来の垂井町のためにできることを考え、テーマごとにまとめます。
- ❑ グループごとに用意されたボードに、ご自分の考えを記入したポストイットを貼りながら周りの方に発表していただき、最後に以下のイメージのようにテーマごとにとりまとめてください。
- ❑ グループごとに発表者を1名決めていただき、グループでまとめたボードの内容に従って発表していただきます。



◆テーマ別に住民ができることを考えよう◆

前回までの意見交換した内容を、別添資料のとおりにまとめています。

これまで意見交換した内容を踏まえ、
各テーマで住民が取り組めることを考えましょう。

【参考例】

| | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 産業・交流 (商工業・観光・農林業など) | 例) 地元商店を利用する 観光ボランティアに参加する など |
| 福祉・健康 (子育て支援・高齢福祉・障がい福祉など) | 例) 介護予防事業に参加する 子どもや子育て家庭へのあいさつ など |
| 教育・生涯学習 (学校教育・生涯学習・文化保全など) | 例) 青少年の見守り活動に参加する 生涯学習講座を受講する など |
| 安全・安心 (防災・防犯・生活安全など) | 例) 見守りパトロールに参加する 地域の避難訓練に参加する など |
| 都市基盤 (公共交通・公園・環境保全など) | 例) 巡回バスを利用する ごみの分別を行う など |
| 協働・人権 (協働・人権など) | 例) 家事・育児・介護を夫婦で協力する 人権尊重意識を深める など |
| その他 | |

総合計画のテーマ案

| | |
|-------------|---|
| 産業・交流 | 魅力的な産業により交流が活発な活気あふれるまちづくり 工業／商業／観光／農業／林業 |
| 福祉・健康 | すべての人が笑顔になれるやさしさにあふれたまちづくり 子育て／高齢福祉／障がい福祉／健康・医療 |
| 教育・ 生涯学習 | ふるさとへの誇りと愛着を持った人財を育てるまちづくり 学校教育／青少年育成／生涯学習／生涯スポーツ／文化 |
| 安全・安心 | 自ら考えみんなで取り組む安全・安心なまちづくり 防災・減災／生活安全 |
| 都市基盤 | 将来を見据えた快適な生活基盤を整えるまちづくり 土地利用／道路／地域公共交通／公園／上水道／下水道／環境 |
| 協働・人権 | まち全体が活発でみんなで育む幸福度の高いまちづくり 協働／人権 |
| 行財政運営 | 総合計画を実行・実現できるまちづくり 行政運営／財政運営／施設管理／人材育成 |
| その他 | 定住促進を実現するまちづくり 空き家対策／タウンプロモーション／情報発信 |

現状の問題と魅力的な地域資源

| 産業・交流 | 福祉・健康 | 教育・生涯学習 | 安全・安心 |
|--|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ▲観光資源の積極的な活用 ▲積極的な観光PR ▲グルメ ▲産業(工業・商業・林業) ▲積極的な企業誘致 ◎半兵衛の里 ◎グルメ(グルマン・つちや) ◎スーパー ◎多くの工場 | <ul style="list-style-type: none"> ▲高齢者対策 ▲高齢者福祉 ▲子育て支援 ▲子どもの遊び場 ▲少子化の進展 ▲少子高齢化の進展 ▲バリアフリー ◎子ども見守り隊 ◎元気な高齢者 ◎素朴な子ども | <ul style="list-style-type: none"> ▲伝統芸能の後継者不足 ▲保育・学校環境 ◎神社仏閣 ◎南宮大社・南宮山 ◎歴史 (竹中半兵衛・美濃国府跡) ◎祭り ◎よさこい | <ul style="list-style-type: none"> ▲防災対策 ▲防犯対策 ▲夜道が暗い |
| 都市基盤 | 協働・人権 | 行財政運営 | その他 |
| <ul style="list-style-type: none"> ▲環境問題 ▲公共交通の利便性 ▲ごみの減量化 ▲山林の整備 ▲道路が狭く利用しづらい土地 ▲道路整備 ◎相川河川敷・鯉のぼり・桜 ◎不和の滝 ◎東海自然歩道 ◎林道池田明神線 ◎自然 ◎朝倉運動公園(朝倉温泉) ◎利便性の高い土地 | <ul style="list-style-type: none"> ▲コミュニケーション不足 ▲地域意識 ▲地域活動の活発化 ▲地域間交流 ▲町全体のまとまり ▲まちづくり協議会との連携不足 ▲まちづくり協議会の機能不足 ▲閉塞感 ◎自治会活動 ◎まちづくり協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ▲現庁舎の活用方法 ▲町行政 ▲財源不足 ◎タルイピアセンター | <ul style="list-style-type: none"> ▲空家対策 ▲人口減少 ▲働く場所 |

▲: 現状の問題 ◎: 魅力的な地域資源

目指すべき将来の姿と実現するための取組

産業・交流

- 温泉のまち
- 観光で生きるまち
- グルメのまち
- 関ヶ原古戦場のPR
- 外からお金の落ちるまちづくり
- 町民全員がトップセールスマン
- 歴史と祭りを中心とした観光のまち
- ★ 飲食店の拡充
- ★ 観光案内人・観光ボランティアの養成
- ★ 観光看板の整備
- ★ 観光協会との連携
- ★ 観光大使の設置
- ★ 現庁舎の活用
- ★ 広域連携
- ★ 史跡めぐりウォーキング
- ★ ジビエ料理の普及
- ★ 宿泊施設の建設
- ★ 関ヶ原観光・池田温泉の活用
- ★ 山村留学
- ★ トイレの確保
- ★ 中山道の整備
- ★ 名産品の開発
- 農業・工業の発展
- 農業が盛んなまち
- ★ ITインフラの整備
- ★ 企業誘致の促進
- ★ 既存企業への助成
- ★ 耕作放棄地の活用
- ★ 離山工業団地の早期実現
- ★ 野菜工場の誘致
- ★ 有機農業の促進

福祉・健康

- 福祉のまち
- 高齢者が安心して住めるまち
- 充実した高齢者対策
- ★ 健康診断の充実
- ★ 高齢者が集える場所の充実
- ★ 高齢者と保育園児が一緒に遊べる場所の確保
- ★ 社会福祉協議会との連携
- ★ 障がい者の職業訓練所の建設
- ★ 地域住民による福祉ネットワークの拡充
- ★ 地域内で高齢者が集まれる場所の確保
- ★ 通所と放課後デイの併設施設の建設
- ★ 保健施設の充実
- ★ 乗合タクシーの活用
- ★ 免許返礼制度
- 安心して子育てできるまち
- 子育てしたくなるまち
- 子育てしやすいまち
- 子育て世帯の多いまち
- 子どもが元気なまち
- ★ 既存の体育施設の活用
- ★ 給食費・修学旅行費の無料化
- ★ 高校までの医療費無料化
- ★ 子育て支援(教育・医療・高齢者の活用)
- ★ 子育て世代の財源確保
- ★ こども園の早期整備
- ★ 産婦人科の建設
- ★ 女性の働く場の確保
- ★ 地域で子育てできる場所の確保
- ★ 保育士の増員・賃金増

教育・生涯学習

- 高齢者と若者の交流があるまち
- 世代間交流ができるまち
- ★ 小中高校生との協働
- ★ 小中高校生の活躍の場の確保
- 伝統あるまち
- 伝統文化を大切にしているまち
- ★ 積極的な情報発信
- ★ 故郷教育の実施
- ★ 他市町村との観光広域連携
- 生涯学習機会の多いまち
- スポーツのまち
- ★ 体協とレッツの統合
- ★ 中央公民館の役割拡大
- ★ スケートボードの拠点整備

安全・安心

- 安心・安全なまち
- 安全なまち
- 災害に強いまち
- ★ 公衆街路灯のLED化
- ★ 自治会での防災訓練
- ★ 住民主体の防災組織の立ち上げ
- ★ 日頃の防災訓練とリーダーの養成
- ★ 防災士の養成
- ★ 歩車道区分

: 目指すべき将来の姿
★: 実現するための取組

目指すべき将来の姿と実現するための取組

| 都市基盤 | 協働・人権 | 行財政運営 | その他 |
|--|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> □自然が守られるまち □自然豊かなまち □やさしさがあふれるまち ★犬の糞害対策の徹底 ★自然散策道の整備 ★自然の中で散策できる施策の推進 ★自然の保護 ★動物との共存 □利便性の高い公共交通 ★JRの増設 ★巡回バスの学生利用 ★巡回バスの充実 ★巡回バスの見直し □便利なまち □土地利用しやすいまち □名古屋・岐阜のベッドタウン □アクセスの良いまち ★国道21号4車線化 ★養老SAスマートインターとのアクセス拡幅 ★市街化調整区域の見直し | <ul style="list-style-type: none"> □行政とのタッグ □声をかけあえるまちづくり □人のつながりがあるまち □まちづくり協議会の活性化 ★住民の声かけ ★地域情報の収集 ★地域の宝の明示 ★まちづくり協議会との連携 ★まちづくりセンターの充実 □活発なまち □活力があり住みやすいまち ★協働意識の高揚 ★地区センターでのイベント創設 | <ul style="list-style-type: none"> □やさしくたよりやすい行政 ★町職員のレベルアップ ★町組織の改編 ★関ヶ原町との合併 | <ul style="list-style-type: none"> □空家対策ができているまち □空家のないまち ★空家・土地コーディネーターの設置 ★空家活用 ★空家対策の推進 □少子化対策 □人口が増えるまち □住みたくなるまち □多様な働く場があるまち □みんなが住みたくなるまち □若者が外部から集うまち □若者が戻って生活しやすいまち ★駅前にマンション建設 ★雇用促進 ★働く場の確保 ★若い世代への格安土地提供 ★若者の定住施策 ★子育て世代への移住優遇 ★駅前駐車場の充実 ★都市計画の見直し |

□: 目指すべき将来の姿
★: 実現するための取組